



学校だより
第36号

西の子

西表小中学校
校長 宮城 弘之
令和2年3月13日

創立 129周年 校訓「明るく、かしこく、たくましく」

“令和元年度「卒業式」”

3月8日（日）は、本校の令和元年度「卒業式」が挙行されました。

今回は、現在世界で恐怖となっている“新型コロナウイルス感染症”対策の為、来賓や地域の方々に参加できず、また、祝辞などの挨拶をカットするなど色々制限がある中行われました。しかし、保護者や在校生、職員に見守れながら13名の卒業生の門出を祝う感動的な卒業式を行うことができました。卒業生保護者を代表して、河島充さんに心温まる激励の言葉を賜りありがとうございました。卒業生小6の愛さん、ひなのさん、宏忠さん、福さん、眞彩さん、中3の皓平さん、元氣さん、みかんさん、飛鳥さん、澁河さん、朝光さん、虹さん、絃太さん、ご卒業、おめでとうございます！



↑
用務員の小川さんが作った花です。卒業生を優しく包み込みました。小川さん サンキュー！





卒業生の13名は、ご両親や地域の方々、先生方に感謝の言葉を表し、将来の夢を述べました。

↓ 3月10日の八重山毎日新聞に本校の卒業式が大きく掲載されました！



通い慣れた学び舎を巣立った8人の中学卒業生ら＝8日、西表小中学校



小学校を卒業した5人の児童ら＝8日、西表小中学校

13人の門出祝う

西表小中学校で卒業式

【西表】西表小中学校(宮城弘之校長)の卒業式が8日、体育館で行われた。中学校を卒業したのは阿久津皓平、池田元氣、片桐みかん、同島飛鳥、斎藤颯河、崎原朝光、鈴木虹、藤田結太さんの8人。小学校は池田愛、長澤ひなの、宮城宏忠、山下梅、和光真彩さんの5人。

涙をこぼる宮城校長から卒業証書を受け取り、一歩一歩踏み出す。小学生は両親らへ12年の感謝の気持ちを伝え、将来の夢を語り、中

校への期待を膨らませた。中学生のスピーチでは、いつも元気で明るい生徒が思いがけず涙が止まらなくなり、在校生や来賓者ももらい泣き。中には「小学校の卒業式で担任の先生のことを思い出して泣いてしまった」と感動した。

中学生が合唱した曲「旅立ちのうた」は、作曲した斎藤颯河君が伴奏、作詞した同校非常勤講師で渡河君の母の久仁子さんが指揮した。退場時は、花道の代わりに、2階ギャラリーから卒業生に紙吹雪が降り注いだ。(宮田哲子・西部通信)

9日午前、石垣市平久保の西の沖合100～150メートルの海上で、SUP(サップ)をしていた東京都大田区の13歳女性2人と横浜市磯子区の41歳女性が、何らかの原因で溺れる事故があったが、3人とも午後1時30分ごろ第十一管区海上保安本部石垣航空基地などに無事救助された。

観光客3人SUP事故

平久保沖、けがなし

マリニッシュ宝島の協力を得て、3人を水上バイクで陸に運んだ。3人ともけがはなかった。

イラン、受刑者7万人釈放

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、これまで受刑者約7万人を釈放したことを明らかにした。タスニム通信が伝えた。

同長官は、基礎疾患を抱える受刑者が優先対象で